

5月1日、新職員が入りました！

この春ワークショップようてい農業部に、新しい職員が入りました。平井ジェイミー惺大(あつひろ)さん。お母さんがフィリピン国籍で、高校卒業までフィリピンにいたそうです。先日インタビューをしました。



平井ジェイミー惺大さん
先月18歳になったばかり

—こちらに勤めたきっかけは？

叔母がニセコに住んでいて今年北海道に住み始めました。仕事を探してこちらを見つけ、人と関わる仕事に携わりたいと思い応募しました。

—趣味はなんですか？

映画を観ることです。特にドラマの要素が入ったアクション映画が好きです。スポーツは卓球やバスケットボールをします。

—これからの目標をきかせてください

早く仕事を覚えて、任された役割をこなしていきたいです。

まだ10代ですが、しっかりと受け答えをしたのが印象的でした。どうぞよろしくお願いいたします(かわさき)。

各事業からのお知らせです～3月の事業報告

※障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい

契約者/就労移行支援 2名、就労継続支援B型 25名、見学者 3名、体験者 0名

※グループホームよろこび

契約者 16名(定員 23名) 見学者 0名、体験者 4名

新コーナー

気になるあのこと

読ん得!

とことん書きます

第1回 今が旬！ 春の山菜について

「春は病気の芽も吹き出す」と言われるくらい体調の変化が出る季節でもあります。体調を保つには生命力の強い山菜・野草がいいといわれています。今回はヨモギについてご紹介します。

<効能>

香りはリラックス効果、食べると整腸作用があります。またお風呂に入れるとアトピー性皮膚炎、乾燥肌や老人性掻痒症のかゆみが軽減されます。

<使い方>

食べるときはアクが強いので重曹を入れ(入れなくても可)よく茹で、水にさらしてアクを抜きます。生でも食べてもよいですが、ごま和えや天ぷらにするとおいしいです。

お茶にして飲む場合は生のままでハーブティーとして、また乾燥させた葉を茶葉として飲んでみてください。

<保存方法>

15~20センチくらい伸びたものから葉を取り、茹でて軽くしぼり乾燥させ、紙袋に保管すると約1年間は使えます。(山菜の女王? ちば)



ヨモギの葉



編集後記

「通信ともに」今回から月刊発行となりました。リニューアル第1回の記事はいかがでしたか？
これからも充実した記事を目指していきますので、ご意見いただければ幸いです(編集担当:かわさき)



—賛助会員さま広告—

の の
居酒屋 呑ん呑ん

倶知安町北2条西1丁目

不定休 午後5時30分~

次回は6月16日(月)発行予定です。

通信

ともに

第12号

2014年5月15日発行

発行者/NPO法人 ともに

住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目
(ワークショップようてい内)

でんわ・ファックス (0136)23-2872

Eメール npotomoni@cods.ocn.ne.jp

公式ホームページ <http://npotomoni.web.fc2.com/>

公式ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni>

今月の一枚



ワークショップ農業部 種いもの植え込みが始まりました。



共同募金会さまより助成金をいただきました！

ワークショップようてい製造部で申請していた、ミシン2台分の助成金計21万円が4月4日に決定し、先日届きました。

写真左のミシンは刺しゅう機が付いており、簡単できれいな刺しゅうが出来ます。

また写真右のロックミシンはアイデア募集で採用され開発中の「布ナプキン」の作成に重宝しています。「ヒュル〜」と高速で糸が巻き上げられ、私たちもびっくりしました。

これで良いものができそうです。本当にありがとうございました。(にしはら)



モナミプライム+刺しゅう機
シンガー社製



縫った刺しゅう

ロックミシン
糸取物語 wave
ジューキ社製



平成26年度通常総会のお知らせ

5月23日[金] 午後1時30分から 倶知安町保健福祉会館 会議室にて開催します。

※賛助会員のみなさまも傍聴できます。ぜひお越しください。

**新たな設計図が完成！
小澤建築士から熱き想いのメールが届きました。**

設計者にとって、これまでに経験のない設計条件や、地域での家づくりは難しいように見えますが、実はずっと楽しいものです。倶知安の雪の量や重さは、札幌とは違い半端じゃない。

梁の太さや、間取りにどんな影響がでるのか。毎日の除雪・排雪のしやすさは最優先事項で、町の条例で定められた落雪距離を守り、賑わいを生む街並みにする工夫をする。また、井戸水を利用した融雪設備を考える。冬の倶知安をイメージしながら、思わず入ってみたいくなるような暖かさを放つ建物のデザインを考える。

そして、スタッフの皆さんとイメージをすり合わせる。楽しくなるのは、当然ですね。

(有)オザワプランニング 一級建築士 小澤典仁

現ワークショップ



設計されている建築士の小澤典仁さま作成の模型写真（写真右の空は合成です）

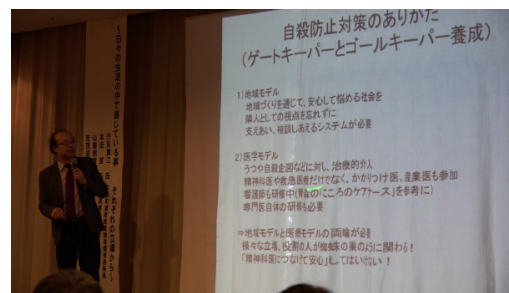
**地域でこころの健康づくり…みんなで学ぼう 春の拡大版スペシャル
～地域の方々にもたくさん来ていただきました～**

3月16日（日）倶知安町ホテル第一会館で今回4回目になる「春の拡大版」をおこないました。

<第1部> 秋田市の精神科医 稲村茂さんによる基調講演で、秋田県医師会や県など協力し自殺率日本一返上に取り組んだあゆみをたくさんの事例で紹介していただきました。

<第2部> 地域で活躍する4人の方にシンポジストをお願いしました。保健師、会社社長、お寺の住職兼幼稚園園長、医師、と初顔合わせの多彩な職種の方がたです。「日々の生活の中で感じている事～それぞれの立場から」ご自分の経験など静かに熱く語っていただきました。

町内会の回覧板を見て来てくださった方の質問もありとても心に残る講演会になりました。ありがとうございました。



稲村茂さん（メンタルクリニック秋田駅前 院長）



山階照雄さん 行天真江さん
吉田匡伸さん（住職） 本田哲さん（保健師）
（精神科医【札幌】） （会社社長）

「増収売上 up アイデア募集」 結果発表！

2月から3月にかけて、利用者と職員合同で実施したワークショップ「増収売上 up アイデア募集」大会。第2次審査終えてみごと採用されたみなさんおめでとうございます！



商品部門
・布ナプキン製作
・にんにく栽培

販売・宣伝方法部門
・「ともに」ロゴマーク
ロゴマークは5月中に再募集し、6月中に決定します。

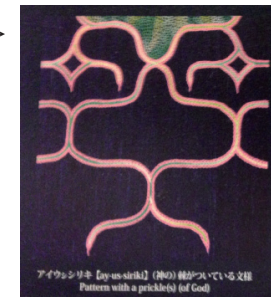
白老町へ研修に行ってきました～アイヌ文様と地域食堂の視察



「グランマ」店舗と日替わり定食



アイヌ文様の一例→
↓白老ポロトコタン



札幌アイヌ文化交流センターのポスターから撮影

4月12日土曜日、調理部と製造部のメンバーが合同で、白老町へ研修に行ってきました。調理部は地元のおばあちゃんたちが立ち上げた食堂「グランマ」で献立の開発を、製造部は「白老ポロトコタン」でアイヌ文様の勉強を目的としました。

<利用者の感想>

家庭的な味だった（グランマ）
これまで築いて来た生活の中だから、このような作品が出来たのだと思った（ポロトコタン）
今回勉強したことを作業活動に活かしていきたいと、秘めたる炎を抱きつつ、白老町を後にしました。



「しずく」開所 入居されている方に聞きました①

4月1日、グループホーム「みまた」から「しずく」に引っ越しました。引っ越しから1ヵ月がたった5月9日に訪問してきました。

木造家屋をリフォームしたこともあり、室内は木の香りに包まれています。入居者の個室が5部屋、語らいの場である居間につづいてバスとトイレがありました。

入居されているみなさんにお話をうかがうと、

<新しいグループホームに移って良かったことは？>

- ・お風呂やトイレが近くなった
- ・スーパーや病院が近くなり、気軽に行けるようになった
- ・居間で他の入居者と出会う機会が増えた

日常どんなことをしてるかは、また次回・・・(^_^)（かわさき）



ワークショップ利用者が制作した看板です。植物と落ちるしずくをイメージしたとのこと。